



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月28日

上場会社名 東京エレクトロン株式会社

上場取引所 東

コード番号 8035 URL <https://www.tel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河合 利樹

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 笹川 謙

TEL 03-5561-7000

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	314,823	45.5	73,849	73.6	75,089	68.4	56,452	77.0
2020年3月期第1四半期	216,421	26.8	42,552	41.2	44,591	40.7	31,894	42.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 69,131百万円 (155.4%) 2020年3月期第1四半期 27,071百万円 (50.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	362.98	360.87
2020年3月期第1四半期	195.68	194.72

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,278,700	848,360	65.3
2020年3月期	1,278,495	829,692	64.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 835,096百万円 2020年3月期 819,301百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		246.00		342.00	588.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		306.00		354.00	660.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	620,000	21.9	127,000	24.0	127,000	19.0	95,000	20.7	610.83
通期	1,280,000	13.5	275,000	15.9	275,000	12.3	205,000	10.7	1,318.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、「添付資料」9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	157,210,911 株	2020年3月期	157,210,911 株
------------	---------------	----------	---------------

期末自己株式数

2021年3月期1Q	1,683,324 株	2020年3月期	1,685,556 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	155,526,131 株	2020年3月期1Q	162,993,433 株
------------	---------------	------------	---------------

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式(2021年3月期1Q 471,898株、2020年3月期 472,030株)を含めております。また、各信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「添付資料」4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、2020年7月28日に機関投資家・アナリスト向けにウェブ説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

## 【添付資料】

## [目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済につきましては、新型コロナウイルスの感染蔓延による影響を受けておりますが、当社グループの参画しておりますエレクトロニクス産業におきましては、IoT、AI、5Gに伴う情報通信技術の用途の広がりを背景とした投資がおこなわれています。加えて、テレワーク、オンライン授業、動画配信サービス利用の増加等による需要の高まりもあり、半導体製造装置市場は拡大基調となっております。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高3,148億2千3百万円(前年同期比45.5%増)、営業利益738億4千9百万円(前年同期比73.6%増)、経常利益750億8千9百万円(前年同期比68.4%増)、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は564億5千2百万円(前年同期比77.0%増)となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

#### ① 半導体製造装置

DRAM、NANDフラッシュメモリについては、上述を背景に需給バランスの改善が見られ、前期より回復基調に転じております。また、ロジック／ファウンドリ系半導体に対する設備投資も持続しており、半導体製造装置市場は堅調に推移しました。このような状況のもと、当セグメントの当第1四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は、3,037億7千2百万円(前年同期比53.3%増)となりました。

#### ② FPD(フラットパネルディスプレイ)製造装置

テレビ用大型液晶パネル向けの設備投資は継続しており、また、モバイル用中小型有機ELパネル向けの設備投資は今後に向け回復基調に転じるものと見込んでおります。このような状況のもと、当セグメントの当第1四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は、110億1千3百万円(前年同期比39.6%減)となりました。

#### ③ その他

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は、3千7百万円(前年同期比32.1%減)となりました。

(ご参考)

## 【連結業績】

(単位：百万円)

	前期通期				当期第1Q	
	前期第1Q	前期第2Q	前期第3Q	前期第4Q		
売上高	1,127,286	216,421	292,021	295,453	323,390	314,823
半導体製造装置	1,060,997	198,137	271,866	282,027	308,964	303,772
日本	159,141	32,534	41,024	35,944	49,637	49,150
北米	205,772	28,550	58,893	61,033	57,294	42,343
欧州	58,899	20,270	14,439	10,863	13,326	15,774
韓国	151,577	36,903	36,418	31,066	47,189	67,013
台湾	256,401	48,333	48,713	76,228	83,127	50,926
中国	193,667	27,090	56,834	59,112	50,629	73,957
東南アジア他	35,537	4,454	15,542	7,778	7,761	4,605
F P D製造装置	66,092	18,229	20,101	13,380	14,381	11,013
その他	197	54	53	45	43	37
営業利益	237,292	42,552	59,901	64,710	70,128	73,849
経常利益	244,979	44,591	62,100	64,953	73,334	75,089
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	185,206	31,894	46,828	49,329	57,154	56,452

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 財政状態

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ221億9千6百万円減少し、9,402億8千7百万円となりました。主な内容は、有価証券に含まれる短期投資の減少585億円、未収消費税等の減少472億2千6百万円、現金及び預金の増加427億4千9百万円、たな卸資産の増加219億2千万円、受取手形及び売掛金の増加158億7千5百万円によるものであります。

有形固定資産は、前連結会計年度末から56億2千7百万円増加し、1,812億7百万円となりました。

無形固定資産は、前連結会計年度末から2億4千7百万円増加し、111億6千9百万円となりました。

投資その他の資産は、前連結会計年度末から165億2千7百万円増加し、1,460億3千6百万円となりました。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末から2億5百万円増加し、1兆2,787億円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ182億7千9百万円減少し、3,642億9千9百万円となりました。主として、未払法人税等の減少282億7千6百万円、賞与引当金の減少152億8千1百万円、前受金の増加274億4千8百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億8千3百万円減少し、660億4千万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ186億6千7百万円増加し、8,483億6千万円となりました。主として、親会社株主に帰属する四半期純利益564億5千2百万円を計上したことによる増加、前期の期末配当533億5千1百万円の実施による減少、その他有価証券評価差額金の増加123億4千8百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は65.3%となりました。

## ② キャッシュ・フロー

現金及び現金同等物の当第1四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ142億4千5百万円増加し、2,622億4百万円となりました。なお、現金及び現金同等物に含まれていない満期日又は償還日までの期間が3ヶ月を超える定期預金及び短期投資604億5千1百万円を加えた残高は、前連結会計年度末に比べ157億5千万円減少し、3,226億5千6百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、前年同期に比べ66億8千2百万円減少の527億8千4百万円の収入となりました。主な要因につきましては、税金等調整前四半期純利益746億6千7百万円、未収消費税等の減少472億4千7百万円、前受金の増加272億8千3百万円がそれぞれキャッシュ・フローの収入となり、法人税等の支払額492億2千9百万円、たな卸資産の増加226億9千4百万円、売上債権の増加158億3千万円がそれぞれキャッシュ・フローの支出となったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、主として定期預金及び短期投資の減少による収入300億円、有形固定資産の取得による支出127億9千8百万円により、前年同期の664億5千2百万円の収入に対し148億9千1百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、主に配当金の支払533億5千1百万円により、前年同期の999億9千4百万円の支出に対し535億3千万円の支出となりました。

## 【連結キャッシュ・フロー(要約)】

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	59,466	52,784
税金等調整前四半期純利益	44,572	74,667
減価償却費	6,081	7,152
売上債権の増減額(△は増加)	48,762	△15,830
たな卸資産の増減額(△は増加)	△29,534	△22,694
仕入債務の増減額(△は減少)	945	880
その他	△11,360	8,609
投資活動によるキャッシュ・フロー	66,452	14,891
定期預金及び短期投資の増減額(△は増加)	75,000	30,000
その他(固定資産の取得等)	△8,547	△15,108
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99,994	△53,530
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,673	100
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	23,251	14,245
現金及び現金同等物の期首残高	232,634	247,959
現金及び現金同等物の四半期末残高	255,886	262,204
現金及び現金同等物並びに満期日又は償還日までの期間が3ヶ月を超える定期預金及び短期投資の四半期末残高	340,886	322,656

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、前回発表時(2020年6月18日)の見通しを変えておりません。

※この決算短信に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等現時点で入手可能な情報をもとに、当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。これらは、市況、競争状況、新製品の導入及びその成否、並びに半導体関連業界の世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の売上高及び利益は、この決算短信に記載されている予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	149,906	192,656
受取手形及び売掛金	150,134	166,010
有価証券	188,500	130,000
商品及び製品	267,625	278,614
仕掛品	69,514	75,370
原材料及び貯蔵品	54,924	60,000
その他	81,983	37,731
貸倒引当金	△105	△95
流動資産合計	962,484	940,287
固定資産		
有形固定資産	175,580	181,207
無形固定資産		
その他	10,921	11,169
無形固定資産合計	10,921	11,169
投資その他の資産		
その他	130,922	147,437
貸倒引当金	△1,413	△1,401
投資その他の資産合計	129,509	146,036
固定資産合計	316,011	338,413
資産合計	1,278,495	1,278,700

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	95,938	96,977
未払法人税等	52,654	24,378
前受金	135,326	162,774
製品保証引当金	14,534	14,158
賞与引当金	29,139	13,858
その他の引当金	2,492	816
その他	52,493	51,336
流動負債合計	382,578	364,299
固定負債		
その他の引当金	110	110
退職給付に係る負債	60,635	60,412
その他	5,478	5,518
固定負債合計	66,224	66,040
負債合計	448,802	430,340
純資産の部		
株主資本		
資本金	54,961	54,961
資本剰余金	78,011	78,011
利益剰余金	702,990	706,069
自己株式	△29,310	△29,273
株主資本合計	806,652	809,768
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,126	32,475
繰延ヘッジ損益	△52	△73
為替換算調整勘定	△4,111	△3,919
退職給付に係る調整累計額	△3,313	△3,153
その他の包括利益累計額合計	12,648	25,327
新株予約権	10,391	13,263
純資産合計	829,692	848,360
負債純資産合計	1,278,495	1,278,700



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	216,421	314,823
売上原価	126,537	186,325
売上総利益	89,884	128,497
販売費及び一般管理費		
研究開発費	25,692	30,142
その他	21,639	24,505
販売費及び一般管理費合計	47,332	54,648
営業利益	42,552	73,849
営業外収益		
受取配当金	434	737
為替差益	1,043	—
その他	623	825
営業外収益合計	2,101	1,562
営業外費用		
為替差損	—	154
アレンジメントフィー	—	100
その他	62	67
営業外費用合計	62	322
経常利益	44,591	75,089
特別利益		
固定資産売却益	0	13
特別利益合計	0	13
特別損失		
固定資産除売却損	19	435
特別損失合計	19	435
税金等調整前四半期純利益	44,572	74,667
法人税等	12,677	18,214
四半期純利益	31,894	56,452
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,894	56,452

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	31,894	56,452
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	749	12,340
繰延ヘッジ損益	98	△8
為替換算調整勘定	△6,381	207
退職給付に係る調整額	715	163
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△24
その他の包括利益合計	△4,822	12,678
四半期包括利益	27,071	69,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,071	69,131

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営者が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、BU(ビジネスユニット)を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「半導体製造装置」及び「FPD(フラットパネルディスプレイ)製造装置」を報告セグメントとしております。

「半導体製造装置」の製品は、ウェーハ処理工程で使われるコータ/デベロッパ、エッチング装置、成膜装置、洗浄装置、ウェーハ検査工程で使われるウェーハプローバ及びその他半導体製造装置から構成されており、これらの開発・製造・販売・保守サービス等を行っております。

「FPD製造装置」の製品は、フラットパネルディスプレイ製造用のコータ/デベロッパ、エッチング/アッシング装置及び有機ELパネル製造用インクジェット描画装置から構成されており、これらの開発・製造・販売・保守サービス等を行っております。

② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	半導体 製造装置	FPD 製造装置				
売上高	303,772	11,013	5,481	320,267	△5,444	314,823
セグメント利益	83,776	522	197	84,496	△9,828	74,667

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループの物流・施設管理・保険業務等であります。
2. セグメント利益の調整額△9,828百万円は、報告セグメントに帰属しない当社における基礎研究又は要素研究等の研究開発費△5,173百万円、及びその他の一般管理費等であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。